

計画事業番号	00623	事務事業名	舗装補修事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6103
--------	-------	-------	--------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	道路法第16条、同法第42条			
事務事業開始年度	昭和50年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 3 節) 道路の整備	
	(施策 1 ) 市内幹線道路・生活道路等の整備	
2 対象	経年劣化した舗装道路	
3 目的と内容	交通の安全を確保するために、老朽化している市道のうち、幹線及び準幹線の中から交通量、劣化度、重要度等により補修事業を計画的に進める。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(平成21年度より新たな補修計画を開始) 平成21年度から24年度まで:大曲通線A=29,107㎡、大曲東通線A=25,409㎡、駅前5番通線外A=5,052㎡、広葉通線A=(車)20,922㎡+(歩)1,423㎡、緑陽通線A=(歩)14,686㎡、東1号線A=1,577㎡、西の里小学校通線A=3,052㎡、北進通線A=3,301㎡、南9号線A=422㎡、西の里中学校通線A=(車)5,923㎡+(歩)3,770㎡、中央線A=3,078㎡、中央通線A=3,995㎡、広島輪厚線A=6,844㎡ 平成25年度:広島輪厚線A=6,496㎡、輪厚中の沢線A=12,863㎡、緑陽通線A=(歩)3,198㎡ 平成26年度:広島輪厚線A=5,705㎡、西の里中学校通線A=(車)5,660㎡+(歩)247㎡、中央通線A=7,966㎡、緑陽通線A=(歩)2,786㎡、広葉通線A=(歩)1,941㎡ 平成27年度:輪厚中の沢線A=6,607㎡、中央通線A=4,580㎡、緑陽通線A=(歩)2,525㎡、高速西1号線A=(車)947㎡、高速東2号線A=(車)1,153㎡ 平成28年度:輪厚中の沢線A=2,17㎡、中央通線A=5,394㎡、緑陽通線A=(歩)2,520㎡、高速西1号線A=(車)1,140㎡、高速東2号線A=(車)1,022㎡
	29年度	昨年度と同様であり、広島輪厚線車道、輪厚中の沢線車道、中央通線車道、北進通線車道、緑陽通線歩道、北進通線歩道、緑陽町8番通線歩道、輪厚三島線の補修を実施する予定である。

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
広島輪厚線車道 輪厚中の沢線車道 中央通線 共栄西通線車道 緑陽通線歩道 北進通線歩道 高速西1号線車道 高速東2号線車道	中央通線車道 輪厚中の沢線車道 緑陽通線歩道 高速西1号線車道 高速東2号線車道 北進通線歩道 若葉町5番通線歩道 輪厚三島線車道 大曲通支線車道	広島輪厚線車道 輪厚中の沢線車道 中央通線車道 北進通線車道・歩道 緑陽通線歩道 緑陽町8番通線 輪厚三島線車道	中央通線車道 北進通線車道・歩道 稲穂通線車道・歩道 共栄西通線車道・歩道 緑陽通線歩道 東栄通線車道 輪厚三島線車道	中央通線車道 北進通線車道・歩道 稲穂通線車道・歩道 共栄西通線車道・歩道 東栄通線車道	中央通線車道 北進通線車道・歩道 稲穂通線車道・歩道 共栄西通線車道・歩道 東栄通線車道		

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	舗装老朽化に伴う事故防止のため、今後も計画的に事業を実施する必要がある。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			140,476		153,000		143,000		120,000	
事業額	直接事業費	国支出金	8,353		27,600		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	97,100		112,800		127,000		108,000	
		その他特財	29,000		4,000		4,000		0	
		一般財源	6,023		8,600		12,000		12,000	
	① 合計	140,476		153,000		143,000		120,000		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	8,400	0	8,400	0	8,400	0	8,400	0	
総事業費①+④			148,876		161,400		151,400		128,400	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①施工延長(車道+歩道) (計画延長 L=122km)	目標値	6.2	5.4	5.8	6.3
		実績値	5.0			
	②累計施工延長(車道+歩道)	目標値	37.3	41.5	47.3	53.6
		実績値	36.1			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	① 補修率 【累計延長÷計画延長】	目標値	32.8%	36.5%	41.6%	47.1%
		実績値	31.8%			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	道路管理者として、安全・快適な道路を維持するため、適正に管理する必要がある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	成果指標から、ほぼ計画通りに成果が上がっているが、更なる進捗率の向上が必要である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	予算の増額により、成果の向上が見込める。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	材料費や人件費の高騰により、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】  
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。